

バージョンと互換性

ソフトウェア / ファームウェア	バージョン	オペレーティングシステム
Bose Videobar VB1 ファームウェア	1.4	-
Bose Videobar VB-S ファームウェア	1.1	-
Bose Work Configuration ソフトウェア	1.4.1	Windows, macOS
Bose Work Management ソフトウェア	1.4.1	Windows

ファームウェアのアップデート方法

注意: 複数の Bose Videobar デバイスのファームウェアを一括で更新するには、Bose Work Management ソフトウェアを使用します。詳細は、ソフトウェアのユーザーガイドをご参照ください。

Bose Videobar のファームウェアアップデート手順は以下です：

1. [PRO.BOSE.COM](https://pro.bose.com) から **Bose Work Configuration** ソフトウェアをダウンロードし、PC へインストールします。
2. Bose Videobar の **USB-C** ポートと PC の USB ポートを接続します。
3. 同梱の電源アダプタを Bose Videobar に接続し、本体が起動するまで待ちます。
4. **Bose Work Configuration** を開きます。
5. Administrator (管理者) アイコンをクリックします。
6. デフォルトのパスワード "**Bose123!**" を入力して **Sign in** をクリックします。
7. **Configuration** (設定) アイコンをクリックすると、現在のファームウェアバージョンがウィンドウ内に表示されます。
 - 最新のファームウェアがすでにインストールされている場合は、バージョンの下に "firmware is up to date" (ファームウェアは最新です) というメッセージが表示されます。
 - 新しいファームウェアが利用可能な場合は、新ファームウェアのバージョン、リリースノートと、**Install** ボタンが表示されます。
8. **Install** ボタンをクリックします。
9. **Continue** をクリックしてファームウェアのアップデートを開始します。**Cancel** をクリックすると元の画面に戻ります。

重要：ファームウェアのアップデート中は、Bose Videobar と PC の接続を切断したり電源を抜いたりしないでください。

アップデートが完了すると、進行バーが消え **Install** ボタンが無効になります。

Bose Videobar VB1

改善

- DSPを変更しました。
- Bose Work ConfigurationおよびBose Work Managementソフトのユーザーインターフェースを改善しました。

修正

- Bose Work Configuration WebUI 接続時のUSBオーディオのステータス表示に関する問題を修正しました。
- Bose Work ConfigurationおよびBose Work Managementソフトウェアでファームウェア更新中に切断されることがある問題を修正しました。
- 低照度補正と逆光補正の相互依存性に関する問題を修正しました。
- ワイヤレスネットワークの可視化に関する問題を修正しました。
- HDMIの状態表示に関する問題を修正しました。
- Bose Work ManagementソフトウェアでのIPアドレスの表示に関する問題を修正しました。
- Bose Work Managementソフトウェアでのカメラ状態の表示に関する問題を修正しました。
- Bose Work Configuration WebUIおよびmacOSのUSBアプリでのエクスクルージョンゾーン設定に関する問題を修正しました。
- その他バグ修正

既知の問題

- インテル® スマート・サウンド・テクノロジー(SST)ドライバー搭載のDell製ノートパソコンでは、オーディオの問題でVB1がフリーズしたりクラッシュしたりすることがあります。この問題を解決するには、Windowsのデバイスマネージャを使用してドライバを無効にし、VB1を再起動してください。
- 古いファームウェア (v1.0-v1.3) のBose Videobar デバイスは、Bose Work ManagementソフトウェアでIPアドレスを手動入力してDevice Listに追加することはできません。
- Bose Videobar デバイス名には、特殊文字を使用できません。使用可能な文字は、アルファベット (大文字と小文字)、数字、およびハイフン (-) です。
- ワイヤレスEAP接続を設定したBose Videobar VB1の有線接続を無効にする場合は、BoseWork Configurationソフトウェアを使用する必要があります。これを使用した場合でもすべてのデータは同期し、各ソフトウェア上の表示に維持されます。(セキュリティ保護されたネットワーク設定の変更に関して、BoseWork Managementソフトウェアはネットワーク接続を使用しアクセスしているため、現時点では利用できません)
- まれに、ネットワークやUSBに接続していない状態で2時間放置すると、Bose Videobar のUSBポートにmacOSデバイスを接続しても、低電力/スタンバイモードから復帰しないことがあります。この場合は、Videobarを再起動して、macOSデバイスを再接続してください。今後この問題が発生しないようにするには、Bose Work Configurationソフトウェアまたは WebUI を使用して低電力モードを無効にします (**Configuration**タブをクリックし、**System**をクリックして、**Low Power Mode**スイッチを **Disabled** に設定します)。Bose Work Configurationソフトウェアまたは WebUI にエラーメッセージが表示されることがありますが、新しいデバイスに接続すると表示されなくなります。

Bose Videobar VB-S

新たな機能

Microsoft Teams 認証 (進行中)

改善

- Bose Work Configuration および Bose Work Management ソフトのユーザーインターフェースを改善しました。

修正

- Bluetooth 接続と音量調節に関する問題を修正しました。
- Bose Videobar VB-S、Bose Work Configuration ソフト、および Microsoft Teams 間の音量レベルの同期に関する問題を修正しました。
- Bose Work Management ソフトを介して Bose Videobar device のファームウェアを更新した後に起きる問題を修正しました。
- その他バグ修正

既知の問題

- Mac に Bose Videobar を USB または Bluetooth 接続で使用する場合、Mac 側の音量調節が無効化される場合があります。
- Windows コンピューターで Bose Videobar を使用する際、Bose Work Configuration ソフトと Microsoft Teams アプリの両方で同時にカメラ画像を表示することはできません。これは、Windows コンピューター上でカメラは一度に1つのアプリケーションでしか使用できないようになっているためです。
- Bose Videobar VB-S を Microsoft Teams で使用する際、赤外線リモコンで VB-S をミュートすると VB-S 側のミュートインジケータは有効になりますが、Teams アプリ側のミュートインジケータは同期しない場合があります。
- Bose Work Configuration Web UI を使用する際、すべてのタブを適切に表示するためにブラウザの更新が必要な場合があります。
- Windows 10 で Bose Work Management アプリを使用する際、Wi-Fi ネットワークを変更後、VB-S を Device List に表示するためにコンピューターの再起動が必要になることがあります。
- 古いファームウェア (v1.0-v1.2) の Bose Videobar デバイスは、Bose Work Management ソフトウェアで IP アドレスを手動入力して Device List に追加することはできません。
- Bose Videobar デバイス名には、特殊文字を使用できません。使用可能な文字は、アルファベット (大文字と小文字)、数字、およびハイフン (-) です。
- ワイヤレス EAP 接続を設定した Bose Videobar VB1 の有線接続を無効にする場合は、BoseWork Configuration ソフトウェアを使用する必要があります。これを使用した場合でもすべてのデータは同期し、各ソフトウェア上の表示に維持されます。(セキュリティ保護されたネットワーク設定の変更に関して、BoseWork Management ソフトウェアはネットワーク接続を使用しアクセスしているため、現時点では利用できません)
- まれに、ネットワークや USB に接続していない状態で2時間放置すると、Bose Videobar の USB ポートに macOS デバイスを接続しても、低電力/スタンバイモードから復帰しないことがあります。この場合は、Videobar を再起動して、macOS デバイスを再接続してください。今後この問題が発生しないようにするには、Bose Work Configuration ソフトウェアまたは WebUI を使用して低電力モードを無効にします (**Configuration** タブをクリックし、**System** をクリックして、**Low Power Mode** スイッチを **Disabled** に設定します)。Bose Work Configuration ソフトウェアまたは WebUI にエラーメッセージが表示されることがありますが、新しいデバイスに接続すると表示されなくなります。